

第7回 日本脳ドック学会総会

The 7th Annual Meeting of Japanese Society for
the Detection of Asymptomatic Brain Disease

プログラム・抄録集



会長 田中隆一

新潟大学脳研究所脳神経外科

平成10年6月11日(木)・12日(金)
新潟ユニゾンプラザ

第7回日本脳ドック学会総会

プログラム・抄録集

会長 田中 隆一

新潟大学脳研究所脳神経外科

会 期：平成10年6月11日(木)・12日(金)

会 場：新潟ユニゾンプラザ

〒950-0994 新潟市上所2-2-2

TEL 025-281-5511 FAX 025-281-5512

評議員

朝倉 哲彦	太田 富雄	大友 英一	大本 堯史
小林 祥泰	斎藤 勇	櫻井恒太郎	篠原 幸人
高倉 公朋	高橋 睦正	館野 之男	田中 隆一
赫 彰郎	東儀 英夫	戸谷 重雄	中島 健二
端 和夫	早川 徹	福井 仁士	藤島 正敏
松本 圭蔵	丸山 勝一	宮坂 和男	山口 武典
山田 弘	吉本 高志		

幹 事

中川 俊男 藤原 悟

(敬称略：五十音順)

ご 挨拶

第7回日本脳ドック学会を新潟でお世話させていただきますことを、大変光栄に存じます。

世界に先駆けてわが国で確立された脳ドックも、昨年の本学会で「脳ドックのガイドライン」が発表されるに至り、いよいよ第二段階を迎えたように思います。すなわち、これまでは主として“無症候性の脳疾患をいかにして発見するか”ということに多くの努力が払われ、「脳ドックのシステム」と「画像診断の方法」が、ほぼ確立されたといえるかと思います。一方、“発見された無症候性脳疾患に対してどう対応するか、その結果はどうか”という究極の問題に関しては、今回のガイドラインからも窺えるように、まだ必ずしも明確にされたわけでもなく、結論が得られたわけでもありません。今後われわれがさらに経験を重ね、経過を観察しながら検討していかなければならない問題です。

今回は、以上のような脳ドックの置かれた背景を考慮に入れ、“発見された無症候性脳疾患に対する対応”ということに重点をおいて主題を掲げ、演題を募集いたしましたところ、65題の興味ある演題をお寄せいただきました。ご応募いただきました演題をもとに、(1) 無症候性脳梗塞の管理と治療、(2) 無症候性脳腫瘍、(3) 未破裂脳動脈瘤の治療選択、の3つのシンポジウムを組ませていただきました。

また、教育講演としては、塚本 泰先生に「脳ドックとインフォームド・コンセント—ドックの法的側面—」を、福井次矢先生に「未破裂脳動脈瘤のマネージメント：決断分析によるガイドライン」を、また、ランチョン教育セミナーとしては、端 和夫先生、斎藤 勇先生に「この症例をどうするか：手術の難しい未破裂脳動脈瘤」を、上村和夫先生に「無症候性脳血管障害の画像診断—国立循環器病センター（厚生省）研究班の成果を中心に—」を、それぞれご講演いただくことになっております。どうかご期待いただきたいと存じます。

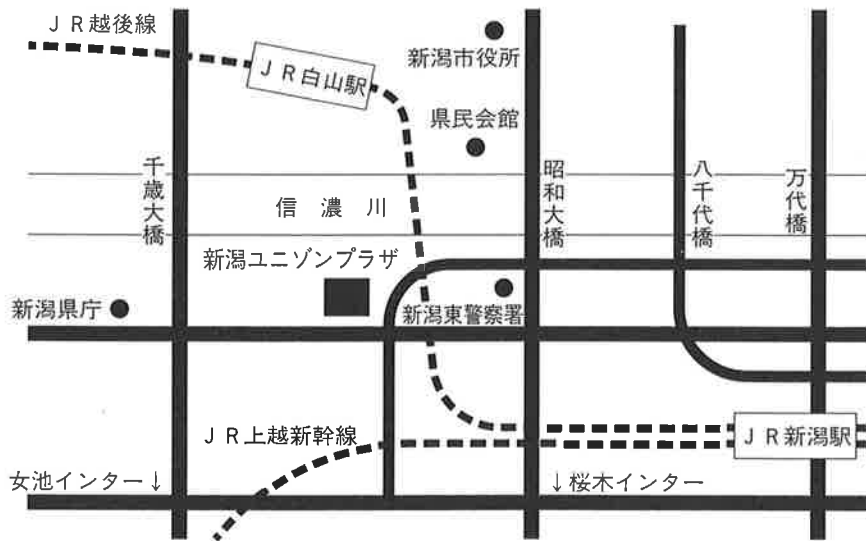
多数の会員の皆様のご参加と活発なご討論をお願い申し上げます。それでは、田園風景の美しい6月の新潟へのお越しを心からお待ち申し上げます。

平成10年4月

第7回日本脳ドック学会総会
会 長 田中 隆一

会場のご案内

会 場：新潟ユニゾンプラザ
新潟市上所2丁目2番2号
TEL (025) 281-5511 FAX (025) 281-5512
(学会期間中本部
TEL (025) 281-6830 FAX (025) 281-6831)

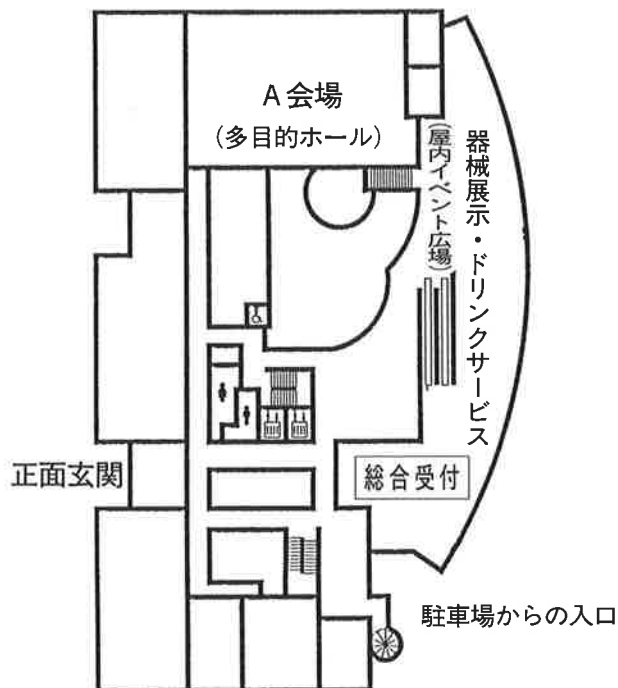


会場までの交通案内

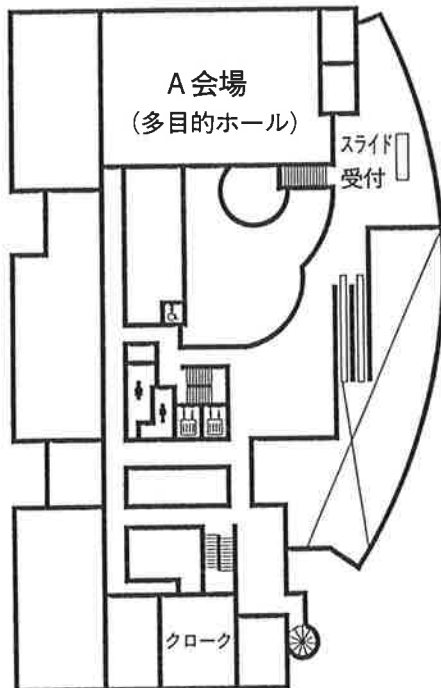
- JR新潟駅万代口（北口）より
 - バス 新潟駅から（新潟交通バス）県庁行（水島町経由）に乗車
「上所島バス停」下車、約15分、180円
 - タクシー 所用時間 約10分、約1000円
- 新潟空港より
 - バス （新潟駅まで）所用時間 約30分、 350円
 - タクシー （会場まで） 所用時間 約25分、約3000円

会場見取図

1階



2階



4階



A 会場：1・2階 多目的ホール

B 会場：4階 大研修室

C 会場：4階 大会議室

総合受付：1階屋内イベント広場

ご 案 内

1. 参会者の皆様に

- (1) 参会受付は6月11日、12日ともに午前8時30分から新潟ユニゾンプラザ1階にて行います。
- (2) 綴じ込みの参会者カードに所属と氏名をご記入の上、参会費10,000円を添えて参加受付にご提出下さい。引き換えに名札をお渡ししますので、所属、氏名をご記入の上、会期中は胸にお付け下さい。
- (3) 脳神経外科学会専門医の方は、本会は日本脳神経外科学会生涯教育クレジットの対象となっておりますので、参会者カードに専門医番号をご記入下さい。また、名札の下の切り取り部分にも専門医番号をご記入の上、受付に用意した所定の箱にお入れ下さい。
- (4) 当学会未入会の方は、新入会員受付にて所定の手続きをお取り下さい。
- (5) プログラム・抄録集は当日ご持参下さい。ご希望の方には会場にて一部1,000円で販売しますが、数に限りがありますのでご了承下さい。

2. 演者の皆様に

- (1) スライド受付は当日午前8時45分より、A会場は2階、B会場は4階にて行います。早朝のご発表の方を除き、発表の1時間前までに受付をお済ませ下さい。スライドを所定のスライドホルダーに収め、試写確認の上、係にお渡し下さい。発表終了後スライドは速やかに受領書と引き換えにお受け取り下さい。
- (2) 発表時間は、一般演題6分、シンポジウム8分です。時間の厳守をお願い致します。
- (3) プロジェクターは35mm版2台を用意致します。スライド枚数の制限はありません。スライドの映写は演者をご指示下さい。
- (4) ビデオのご使用はできません。
- (5) 次演者は所定の席でお待ち下さい。
- (6) 円滑な運営のため、質疑、コメントされる方はあらかじめマイクの前に立ち、座長の指示に従って下さい。

3. ランチョン教育センター

6月11日、B会場、C会場にて行います。ランチが用意されています（無料）。

4. 機器展示

学会期間中、1階にて機器展示を行います。各メーカーから最新機器等の展示がありますのでご覧下さい。

5. 会員懇親会

6月11日（木）午後6時30分より新潟グランドホテル（地図参照）悠久の間において懇親会を行います（参加無料）。第1日目日程終了後、学会会場からバスが出ますのでご利用下さい。

会員懇親会会場

新潟グランドホテル

〒951-8052 新潟市下大川前3-2230

TEL 025-228-6111 FAX 025-228-0735



■交通のご案内

- J R新潟駅から車で..... 5分
- 新潟空港から車で.....20分
- 佐渡汽船フェリーへ車で..... 5分
- 古町繁華街まで徒歩..... 5分

6. 学会事務局

期間中（6月11日、12日）：新潟ユニゾンプラザ4階

〒950-0994 新潟市上所2-2-2

Tel : 025-281-6830

Fax : 025-281-6831

期間外

：新潟大学脳研究所脳神経外科

〒951-8585 新潟市旭町通り1-757

Tel : 025-227-0652、0653

Fax : 025-227-0819

日 程 表

第1日：6月11日（木）

A会場（2F多目的ホール）		B会場（4F大研修室）		C会場（4F大会議室）	
8:55					
9:00	開会の辞	9:00	無症候性脳梗塞： 頸動脈病変（B-01～05） 座長 篠原幸人		
9:54	未破裂脳動脈瘤： 画像診断（A-01～06） 座長 高橋睦正	9:45	無症候性脳梗塞： 狭窄性病変（B-06～08） 座長 東儀英夫		
10:30	未破裂脳動脈瘤： 治療（A-07～10） 座長 藤原 悟	10:12	無症候性脳梗塞： 危険因子（B-09～12） 座長 小林祥泰		
10:57	未破裂脳動脈瘤： 血管内外科（A-11～13） 座長 山田 弘	10:48	高次脳機能 I （B-13～15） 座長 相馬芳明		
11:24	インフォームド・コンセント （A-14～16） 座長 戸谷重雄	11:15			
11:30	教育講演 I：塚本 泰 脳ドックとインフォームド・コンセント —ドックの法的側面— 座長 中川俊男				
12:00		12:10	ランチョン教育セミナー I この症例をどうするか： 手術の難しい未破裂脳動脈瘤 端 和夫・斎藤 勇 座長 田中隆一	12:10	ランチョン教育セミナー II 無症候性脳血管障害の画像診断 —国立循環器病センター（厚生省） 研究班の成果を中心に— 上村和夫 座長 山口武典
13:10	議事総会	13:10		13:10	
13:40	医療経済 （A-17～20） 座長 松本圭蔵	13:40	高次脳機能 II （B-16～18） 座長 岡田耕坪		
14:16		14:07			
14:20	シンポジウム I 無症候性脳梗塞の管理と 治療（S-01～05） 座長 赫 彰郎				
15:40					
15:50	シンポジウム II 無症候性脳腫瘍 （S-06～12） 座長 景山直樹				
17:30					

第2日：6月12日（金）

A会場（2F多目的ホール）		B会場（4F大研修室）	
9:00	脳血流・他 （A-21～24） 座長 朝倉哲彦	9:00	スクリーニング・他 （B-19～22） 座長 丸山勝一
9:36		9:36	
9:40	シンポジウムIII 未破裂脳動脈瘤の 治療選択（S-13～19） 座長 端 和夫		
11:20	教育講演II：福井次矢 未破裂脳動脈瘤のマネージメント： 決断分析によるガイドライン 座長 太田富雄		
11:50	閉会の辞		
11:55			

教育講演ならびにランチョン教育セミナー

教育講演 (I)

(第1日目 11:30-12:00) A会場

脳ドックとインフォームド・コンセント

—ドックの法的側面—

塚本 泰 先生 (関東中央病院脳神経外科)

教育講演 (II)

(第2日目 11:20-11:50) A会場

未破裂脳動脈瘤のマネージメント:決断分析によるガイドライン

福井次矢 先生 (京大病院総合診療部)

ランチョン教育セミナー (I)

(第1日目 12:10-13:10) B会場

この症例をどうするか:手術の難しい未破裂脳動脈瘤

端 和夫 先生 (札幌医科大学脳神経外科)

斎藤 勇 先生 (杏林大学脳神経外科)

ランチョン教育セミナー (II)

(第1日目 12:10-13:10) C会場

無症候性脳血管障害の画像診断

—国立循環器病センター (厚生省) 研究班の成果を中心に—

上村和夫 先生 (秋田県立脳血管研究所)

プログラム

第1日：6月11日（木）

A会場

8：55～9：00

開会の辞

会長 田中隆一

9：00～9：54

未破裂脳動脈瘤：画像診断

座長 高橋睦正

- A-01) 脳ドックでの未破裂脳動脈瘤診断における3D-CT angiography（3D-CTA）の有用性
岩手医科大学脳神経外科、神経内科*
○鈴木 豪、鈴木倫保、佐々木一裕*、東儀英夫*、小川 彰
- A-02) 未破裂脳動脈瘤の二次検診—適応と問題点—
盛岡赤十字病院脳神経外科、岩手医科大学脳神経外科*
○久保直彦、箱崎誠司、菅原 淳、西川泰正、小林正和、櫻村博史、小川 彰*
- A-03) 脳ドックMRA診断後の二次検査—未破裂脳動脈瘤に対する方針—
広南病院脳神経外科、東北大学脳神経外科*
○長嶺義秀、藤原 悟、吉本高志*
- A-04) 未破裂脳動脈瘤診断上の問題点—血管撮影の是非—
十和田市立中央病院脳神経外科、阿部クリニック*
○畑中光昭、藤井康伸、阿部芳則*
- A-05) 未破裂脳動脈瘤の診断—MRA元画像の再利用—
星が浦病院脳神経外科、釧路脳神経外科病院*
○鈴木 進、五十嵐幸治、佐々木祐典、齋藤孝次*
- A-06) GE SIGNA Horizon LX1.5TによるMRAの威力
(財)脳神経疾患研究所附属南東北病院、附属福島医療クリニック
○笹沼仁一、渡辺一夫

9:54~10:30

未破裂脳動脈瘤：治療

座長 藤原 悟

- A-07) 未破裂脳動脈瘤に関する当院脳ドックの現状
福井県立病院脳神経外科
○柏原謙悟、村田秀秋、得田和彦、朴 在鎬、丸川浩平
- A-08) 未破裂脳動脈瘤の治療指針について
藤田保健衛生大学脳神経外科、放射線科*
○金岡成益、早川基治、加藤庸子、佐野公俊、神野哲夫、竹下 元*、
片田和廣*
- A-09) 未破裂脳動脈瘤に対する直達手術成績と予後因子について
長崎大学脳神経外科、国立長崎中央病院脳神経外科*
○上之郷眞木雄、柴田尚武、米倉正大*、角田圭司*
- A-10) Paraclinoid regionの無症候性未破裂脳動脈瘤46症例の手術成績
新さっぽろ脳神経外科病院、札幌医科大学医学部脳神経外科*
○山村明範、黒川泰任、中川俊男、端 和夫*

10:30~10:57

未破裂脳動脈瘤：血管内外科

座長 山田 弘

- A-11) 無症候性椎骨動脈瘤にGDCを用いて瘤内塞栓を行った1例
大阪医科大学脳神経外科
○出口 潤、田中英夫、長澤史朗、太田富雄
- A-12) 未破裂脳動脈瘤の治療選択 CoilかDirect clippingか？
函館赤十字病院脳神経外科、禎心会病院脳神経外科*
○松崎隆幸、嶋崎光哲、臼居礼子、鈴木知毅*
- A-13) 未破裂脳動脈瘤に対する血管内手術
久留米大学脳神経外科、同放射線科*
○広畑 優、安陪等思*、田中法瑞*、徳富孝志、重森 稔

10:57~11:24

インフォームド・コンセント

座長 戸谷重雄

- A-14) 脳ドックにおけるインフォームドコンセント
—再受診の傾向とその必要性について—
聖麗メモリアル病院脳神経外科
○河野拓司、岡部慎一、川上徳昭、原田洋一、遠藤 聖、子安英樹

A-15) 脳ドックとインフォームド・コンセント、正常MR所見の後の発病例の検討
岡山旭東病院脳神経外科、岡山旭東病院放射線科*

○佐藤健吾、土井章弘、吉岡純二、中島 進、伊藤隆彦、入澤 実*

A-16) 脳ドック検診後4ヶ月半で発見された多形性膠芽腫の1例

浦和市立病院脳神経外科

○小山英樹、奥井俊一

11:30~12:00

教育講演 I

座長 中川俊男

脳ドックとインフォームド・コンセント

—ドックの法的側面—

塚本 泰 (関東中央病院脳神経外科)

13:10~13:40

議事総会

13:40~14:16

医療経済

座長 松本圭蔵

A-17) 実症例による脳ドックの医療経済的検討

防衛医科大学校救急部、防衛医科大学校脳神経外科*

○柳川洋一、斎藤大蔵、寺井親則、岡田芳明、苗代 弘*

A-18) 企業全額負担脳ドックの経験

黒沢病院脳神経外科、黒沢病院高崎健康管理センター*

○岡田慶一、大森重宏、島田祥士、黒沢 功*

A-19) 地域密着型脳ドック検診

—地方自治体病院での試み—

岩手県立花巻厚生病院脳神経外科

○遠藤英雄、北上 明、田口壮一

A-20) 住民検診を活用した無症候性脳血管障害発見の試み

岐阜大学脳神経外科、岐阜県環境衛生部*

○山川弘保、竹中勝信、平山宏史*、坂井 昇

14:20~15:40

シンポジウム 無症候性脳梗塞の管理と治療

座長 赫 彰郎

- S-01) 無症候性脳梗塞の治療指針
—とくに血液凝固線溶系検査の追跡調査による検討—
東松山市立市民病院脳神経外科、同 内科*
○竹内東太郎、笠原英司、岩崎光芳、松崎正一*
- S-02) 脳ドックにおける再検査時期の検討
県立下呂温泉病院脳神経外科、岐阜大学脳神経外科*
○原 秀、中川将徳、岩田辰夫、山田 弘、林 克彦*、坂井 昇*
- S-03) 無症候性脳梗塞等の経過
—2回以上脳ドックを受診した症例の検討より—
総合大雄会病院脳神経外科・脳卒中センター、同放射線科*、岐阜大学脳神経外科**
○山田 弘、山田 潤、後藤至宏、今井 秀、船越 孝、伊藤 哲*、
目崎行雄*、矢野大仁**、篠田 淳**、安藤 隆**、坂井 昇**
- S-04) 脳ドック受診者における無症候性脳梗塞の予後追跡調査
日本医科大学第二内科、金内メディカルクリニック*
○高橋真理子、永積 惇、赫 彰郎、金内秀士*
- S-05) 脳ドック受診者における1997年度脳卒中発症調査
島根医科大学第3内科
○小林祥泰、岡田和悟、須山信夫、足立智英、長井 篤、山口修平

15:50~17:30

シンポジウムII 無症候性脳腫瘍

座長 景山直樹

- S-06) 無症候性髄膜腫の治療
宇部興産中央病院脳神経外科
○黒川 泰、阿美古征生、池田典生、岡村知實、渡辺浩策
- S-07) 無症候性髄膜腫14例の検討
西宮市立中央病院脳神経外科
○本崎孝彦、小山 隆
- S-08) 無症候性髄膜腫の臨床像と治療上の問題点
福島県立医科大学脳神経外科
○佐藤光夫、糸川 博、前野和重、松本正人、佐々木達也、児玉南海雄

- S-09) 無症候性髄膜腫71例の検討：自然経過と治療方針
新潟大学脳神経外科
○米岡有一郎、恩田 清、田村哲郎、田中隆一
- S-10) 無症候性髄膜腫の治療方針
日本医科大学脳神経外科
○野手洋治、林 靖人、寺本 明
- S-11) 無症候性下垂体腫瘍の自然経過
新潟大学脳神経外科
○田村哲郎、森井 研、岡崎秀子、田中隆一
- S-12) 無症候性神経膠腫
新潟大学脳神経外科
○米岡有一郎、高橋英明、恩田 清、田中隆一

B会場

9:00~9:45

無症候性脳梗塞：頸動脈病変

座長 篠原幸人

- B-01) 無症候性脳梗塞における頸動脈病変と血小板活性化
東京女子医科大学脳神経センター神経内科、同脳神経外科*
○原由紀子、内山真一郎、岩田 誠、井沢正博*、高倉公朋*
- B-02) 頸動脈病変と脳虚血性病変の関連について
財) 脳神経疾患研究所附属南東北病院脳神経外科
○小泉仁一、渡辺一夫
- B-03) 健常成人における総頸動脈内膜肥厚度と動脈硬化危険因子、無症候性脳梗塞、PVHとの関連
島根医科大学第三内科
○西 勝久、小林祥泰、足立智英、須山信夫、長井 篤、白澤 明、山口修平、岡田和悟
- B-04) 無症候性脳梗塞と24時間心電図QTc変動・頸動脈超音波断層検査との関連について
財) 香川成人医学研究所、医療法人財団大樹会回生病院*
○長尾修自、志和正明、松浦俊子、松浦達雄*
- B-05) 無症候性内頸動脈狭窄症に対する血栓内膜剥離術（CEA）について
中国労災病院脳神経外科、島根医科大学脳神経外科*
○山中千恵、島 健、西田正博、山根冠児、畠山尚志、岡田芳和*

9:45~10~12

無症候性脳梗塞：狭窄性病変

座長 東儀英夫

- B-06) 頭蓋内MRAの信号強度の左右差についての検討（頸部内頸動脈狭窄病変の推察）
岡山旭東病院脳神経外科、岡山旭東病院放射線科*
○中島 進、佐藤健吾、吉岡純二、土井章弘、入澤 実*、高尾 渉*、菅田照也*
- B-07) 脳ドックにおける脳主幹動脈狭窄病変のスクリーニングの成績について
日立製作所日立総合病院脳神経外科
○和田美弦、佐藤真琴、辻 理、吉原成哲、伊藤和文

- B-08) 中大脳動脈狭窄性病変に対する神経放射線学的検討
— 3D-CTA・MRAの比較—
千葉西総合病院脳神経外科、昭和大学医学部脳神経外科*
○鈴木泰篤、川俣 光、松本浩明*、松本 清*

10:12~10:48

無症候性脳梗塞：危険因子

座長 小林祥泰

- B-09) 脳ドックにて発見された無症候性脳梗塞と危険因子の関係
立川メディカルセンター立川総合病院脳神経外科、同悠遊健康村病院脳神経外科*
○新井田広仁*、中島 拓、西巻啓一、福田光典*
- B-10) 無症候性脳梗塞の発現に付加的に関与する因子
東海大学東京病院神経内科、山中湖クリニック神経内科*
○高木繁治、高橋若生*、篠原幸人
- B-11) 無症候性脳梗塞のライフスタイルとパーソナリティ—
— 中年層の受診者を対象とした検討—
東京慈恵会医科大学健康医学センター、聖マリアンナ医大難病治療研究センター*
○豊原敬三、和田高士、池田義雄、下條貞友*
- B-12) 無症候性脳梗塞患者における危険因子と高次脳機能検査の検討
自治医科大学大宮医療センター脳神経外科、第1総合講座*、脳ドック部**
○山田直司、岩佐英明、柳沼淑夫**、松浦克彦*、釜井陽子**

10:48~11:15

高次脳機能 I

座長 相馬芳明

- B-13) 高次脳機能評価法の臨床的意義
— 大脳生理学的検討—
福岡大学病院リハビリテーション部、福岡大学医学部内科・健康管理学*、福岡徳州会病院リハビリテーション科**
○薛 克良、岩崎敬雄、亀井博之*、西丸雄也*、安部博史**、貞島博道**

B-14) 脳ドックにみる高次脳機能とMRI虚血性病変との関連について
福井総合病院脳神経外科、神経内科*、言語療法室**、福井医科大学脳神経外科***

○辻 哲朗、安達正士、伊藤清吾*、中澤久夫**、古林秀則***
久保田紀彦***

B-15) 無症候性脳梗塞に対する認知機能検査の意義について

国保日高総合病院脳神経外科

○前島伸一郎、森脇 宏、増尾 修、山家弘雄、尾崎文教

12:10~13:10

ランチョン教育セミナー

座長 田中隆一

この症例をどうするか：手術の難しい未破裂脳動脈瘤

端 和夫 先生（札幌医科大学脳神経外科）

斎藤 勇 先生（杏林大学脳神経外科）

13:40~14:07

高次脳機能II

座長 岡田耕坪

B-16) 記憶の低下を心配して脳ドックを受診する人は本当に記憶が低下しているのか？

東京都神経科学総合研究所リハビリテーション研究部門、三井記念病院総合健診センター*

○御園生香、武田克彦、山門 実*

B-17) 脳ドックMRI検査における無症候性脳萎縮、leuko-araiosisと各種パラメーター、特に高次機能との関係について

公立昭和病院脳神経外科

○指田 純、和田 晃、武笠晃文、阿部 正、河本俊介、永田和哉

B-18) 脳ドック受診者における無症候性脳血管病変とP300潜時

島根医科大学第三内科

○須山信夫、小林祥泰、山口修平、岡田和悟、白澤 明、豊田元哉

C会場

12:10~13:10

ランチョン教育セミナーII

座長 山口武典

無症候性脳血管障害の画像診断

—国立循環器病センター（厚生省）研究班の成果を中心に—

上村和夫 先生（秋田県立脳血管研究所）

第2日：6月12日（金）

A会場

9：00～9：36

脳血流・他

座長 朝倉哲彦

- A-21) ^{123}I -IMP-SPECTを用いた脳循環動態からみた無症候性脳梗塞
—健常者、症候性脳梗塞との比較—
成田記念病院神経内科
○川畑信也
- A-22) 無症候性脳内変化（MRI）症例における脳循環測定の結果
藤枝平成記念病院 BRAIN MEDICAL CHECK UP CENTER 脳神経外科
○平井達夫、藤井元彰、島野裕史、吉田 守、山本義介、千賀俊彦、
杉本輝雄、小沢法子
- A-23) 脳ドック受診者におけるLP(a)とLP(a)Phenotypeの特徴
新潟こばり病院内科、脳外科*、県立新潟女子短期大学公衆衛生**
○水戸将郎、蒲沢壮夫、神沢孝夫*、宇塚岳夫*、渡辺秀明*、宮西邦夫**
- A-24) 脳動脈瘤の遺伝子診断の試み
—アンジオテンシン変換酵素遺伝子多型性解析—
岐阜大学脳神経外科
○竹中勝信、山川弘保、奥村 歩、上田竜也、浅野好孝、中谷 圭、
村瀬 悟、篠田 淳、出口一樹、安藤 隆、坂井 昇

9：40～11：20

シンポジウムⅢ 未破裂脳動脈瘤の治療選択

座長 端 和夫

- S-13) 未破裂脳動脈瘤非手術例のタイプ別自然経過
—多変量解析による手術適応—
広島大学脳神経外科、県立広島病院脳神経外科*
○井川房夫、栗栖 薫、大庭信二、富永 篤、原田薫雄、杉山一彦、
有田和徳、木矢克造、魚住 徹
- S-14) 脳ドックにて診断された未破裂無症候性脳動脈瘤の追跡結果
虎の門病院脳神経外科、健康医学センター*
○梅津博道、関要次郎、臼井雅昭、吉永英世*

S-15) 無症候性未破裂脳動脈瘤の手術適応におけるサイズとサイズの変化に関する考察

磯部クリニック、深谷赤十字病院*

○磯部逸夫、鶴田邦彦、青木邦夫、神田真司*、掛川 徹*

S-16) 未破裂脳動脈瘤スコアリングを用いた手術適応の検討

—手術例、経過観察例を比較して—

阪和記念病院脳神経外科、同内科*

○松本勝美、赤木功人、安部倉信、大川元久、岩佐信孝、秋山智洋、

奥 憲一*、瀬戸孝宏*、松田隆行*、黒田雅人*、田崎 修*

S-17) 脳ドックで発見された未破裂脳動脈瘤に対する治療選択“術中所見、手術成績、追跡調査から”

北斗病院脳神経外科

○井手 渉、橋本郁郎、佐土根朗、松本明彦、山口日出志、池田政彦、

鎌田 一

S-18) 未破裂脳動脈瘤の治療選択について

—初期の反省をふまえて—

慶應義塾大学医学部脳神経外科、赤坂パークビル脳外科*

○佐藤周三、赤路和則、稻栞丈司、堀口 崇、菅 貞郎、吉田一成、

河瀬 斌、水上公宏*

S-19) 未破裂脳動脈瘤の治療選択

杏林大学脳神経外科

○塩川芳昭、佐藤栄志、小西善史、斎藤 勇

11:20~11:50

教育講演II

座長 太田富雄

未破裂脳動脈瘤のマネジメント：決断分析によるガイドライン

福井次矢 先生（京大病院総合診療部）

11:50~11:55

閉会の辞

会長 田中隆一

B会場

9:00~9:36

スクリーニング・他

座長 丸山勝一

- B-19) 当院における頭部MRI, MRAスクリーニング検査の現況
野崎病院画像診断センター、宮崎医科大学放射線医学講座*
○浅田敬子、野崎藤子、小玉隆男*、田村正三*
- S-20) 頭部MR-A1600例の検討
秋山脳外科
○秋山 巖
- B-21) MRI T2強調画像における基底核部異常高信号域の解析
—冠状断の有用性について—
慶應義塾大学脳神経外科、赤坂パークビル脳神経外科*
千葉脳神経外科病院**
○堀口 崇、吉田一成、佐藤周三、水上公宏***、河瀬 斌
- B-22) venous angioma-MRI所見と注意点について
那須野が原菅間病院脳神経外科、宇都宮セントラルクリニック*
○中岡 勤、菅間 恒、佐藤俊彦*